

【優秀賞】

団体名	tobira ドリームプロジェクト (とびらどりーむぷろじえくと)
活動の内容(概要)	tobira ドリームプロジェクトは、各分野で活躍するプロフェッショナルからオンラインで直接話を聞く事ができるプログラムです。どのような環境下（過疎地、離島等）でも多くの職業に触れる機会を平等に提供しています。また、複数の講師に同時にご登壇頂き、子供たちはタブレットから職業を選んで聞くことができるため、関心をもって話を聞くことができます。目標とする大人のロールモデルが見つかり、目的意識を持てるように設計しています。

受賞理由

- 同スキームが全国に広がりつつある状況が見える。過疎化というのは人口減少下の日本では珍しいテーマではなく、各分野のプロからオンラインで話が聞けるという利便性、タブレットを利用することで選んで参加できる選択制が、幅広い活用につながっている。キックオフの実施や、輪を広げる紹介での展開も効果的である。
- 継続年数は少ないが、体験型のキャリア教育ができないというコロナ禍を逆手にとったオンラインキャリア教育という発想が見事である。子供たちが、関心のある職業を選んで受講できる仕組みもお仕着せの授業にならないように工夫された点で評価が高い。エリアフリーだから実現した都会の港区と伊東市の小学校の合同授業も興味深く、今後全国の小学校、中学校をどこまで巻き込んでいくか楽しみだ。資料にある小学生と中学生のアンケート結果や SDGs での目標達成をドリームプロジェクトと関連付けた説明もよかった。
- オンラインで職業講話を聞く機会を提供するプログラムは、コロナ禍の学校のニーズと合ってる。個別に繰り返したり、選択したりしながら職業講話を視聴することで気づきが広がる。振り返りのドリームノートに登壇者からのフィードバックがあることも、次への意欲につながる。ドリームノートもデジタル化して履歴を蓄積してみると、そこから次の展開が望めるのではないか。伊東市と港区の交流も実現しており、インプット中心のプログラムを、アウトプットを強く促すもののできたら、さらに魅力的なプログラムになるのではないか。
- COVID-19 の脅威が依然として続く中で、各分野で活躍するプロフェッショナルからオンラインで直接話を聞く事ができるプログラムの提供は重要である。
- 多様な地域・学校で実施できる汎用的なプログラムである。
- 先生の負担が少なく実施共有できる素敵な取り組みである。

連携・協働している機関や団体，組織

【教育関係者（学校，教育委員会等の機関や団体）】

静岡県伊東市立東小学校、池小学校、宇佐美中学校、門野中学校、東京都港区立芝小学校、赤羽小学校、御田小学校、芝浜小学校、三田中学校、東京都千代田区立和泉小学校、東京都中央区立宇佐美学園、中央小学校、東京都品川区立戸越小学校、大崎中学校、伊藤学園、千葉県勝浦市立豊浜小学校、興津小学校、長野県茅野市立湖東小学校、永明中学校、兵庫県淡路市立津名中学校、成田市立神宮寺小学校、西中学校、三重県いなべ市立員弁西小学校、新潟県柏崎市立北条中学校、御蔵島村立御蔵島小中学校、東京都立八丈高等学校、岡山県立玉野光南高等学校

【行政や地域・社会，産業界等】

伊東市長、勝浦市長、株式会社エール・アセット、株式会社小学館、株式会社アンスピホールディングス、中央法規出版株式会社、株式会社野村商店、株式会社小学館集英社プロダクション、カルビー株式会社、伊東マリンタウン株式会社、認定 NPO 法人健康ラボステーション、株式会社育星会、J-WORKOUT 株式会社、株式会社 CARTWHEEL、株式会社ファブリオ、一般社団法人日本姿勢と歩き方協会、一般社団法人ダンス教育振興連盟 JDAC、エフエム伊東株式会社、株式会社伊豆シャボテン公園、三和建設株式会社、伊豆急ホールディングス株式会社、株式会社伊豆急ケーブルネットワーク、あいら伊豆農業協同組合、ホテル暖香園、武田製靴株式会社、東急リパブル株式会社、NPO 法人センター・オブ・ジ・アーツ、株式会社 JOKAKU、GENUINE 合同会社、株式会社ブルジョン、林動物病院、合名会社渡辺酒造店、多賀クリニック、株式会社パステル、株式会社 Award of Life、笑顔の家、香取鮎、江戸前芝浜、株式会社 foodrobe、有限会社山波農業、株式会社グーデックス、セントラルスポーツ株式会社、株式会社サンミュージックプロダクション、日本振興株式会社、伊東・伊豆高原地元食材イタリアン ミラココ、株式会社 J A L スカイ、ブックオフホールディングス株式会社、柳生の庄、合同会社若林産業医事務所
(2023 年 1 月現在)

活動開始の経緯



<プロフェッショナルの登壇風景>

いとの声が挙がり、港区と伊東市の小学校がオンラインでつながり合同授業として行うなど、地域を超えた連携も実現した。2021 年度の開催校 13 校は、全校継続を希望し、2022 年度は保護者参観を取り入れ、保護者の方にも子供たちのキャリアを考えていただく機会を提供している。

【活動開始時期】令和 2 年 11 月～

【継続年数】2 年半

コロナ禍で従来型のキャリア教育ができなくなった背景を受け、2020 年 11 月に静岡県伊東市の教育委員会様とキャリア教育のオンライン化の取り組みをスタートした。オンラインで充実したキャリア教育を提供するにはどのような内容にすれば良いか、半年かけて調査・研究・企画を行い、2021 年 5 月より実証実験として伊東市立東小学校、池小学校、宇佐美中学校 3 校にご協力いただき、計 10 回実施、26 職種を紹介した。その後、複数の都市の小中学校から実証実験に参加した

「協力性」についての具体的な取組, 工夫している点など

開催校の近隣企業や団体、地域で活躍する方々にも協力を依頼することで、地域全体で子供たちの夢を応援する輪を作っている。地元にある職業は周辺地域の方に、周辺地域にない職業は tobira ドリームプロジェクト登録プロフェッショナルを活用することで、地域によって出会える職業が異なる問題を解消しながらも、地元の良さを伝える機会も作っている。また、開催前にキックオフミーティングを設定し、学校の先生と登壇プロフェッショナル（企業／団体／個人）全員が一堂に介し、話し合う場を設けている。学校がキャリア教育に求めること、外部連携のねらいや課題などを共有することで、学校と登壇するプロフェッショナルの垣根をなくし、一緒に一つの授業を作り上げる体制を整えている。学校の教師にとっては、各分野のプロフェッショナルとの情報交換を通して、キャリア教育に欠かせない「様々な分野で働く方達のリアルな声」を拾うことができるようになっている。

<伊東市立東小学校・池小学校での例>

各回 5 職種、計 4 回開催（年間で 20 職種紹介）各回 2 名を地元企業から、3 名を周辺にない職業を選んで実施した。地元からは、伊東マリンタウン、伊豆急ホールディングス、JA あいら伊豆農協、伊豆シャボテン動物公園、ホテル暖香園、三和建設株式会社、伊東・伊豆高原地元食材イタリアン ミラコロなどの企業や、伊東で活躍する歌手、ダイビングインストラクター、翻訳家など個人の方にも協力いただいた。その輪からさらに企業をご紹介、ご協賛いただく流れにつながっている。

「継続性」についての具体的な取組, 工夫している点など

tobira ドリームプロジェクトは、以下の流れで PDCA を意識している。

- ・教育委員会／学校／登壇プロフェッショナルへ開催趣旨説明（共通認識）
- ・学校／登壇プロフェッショナル全員でキックオフミーティング（狙いや課題の共有）
- ・ドリームノートでのフィードバック（生徒の理解度の確認／改善点の洗い出し①）
- ・学校の先生、生徒、登壇プロフェッショナルそれぞれにアンケート実施（改善点の洗い出し②）
- ・アンケート結果を学校ごとにレポートとしてまとめ、関係者へ共有
- ・改善点などをまとめて、キックオフ資料に追加、授業内容の改善

<PDCA のポイント>

- ・学校の先生と登壇するプロフェッショナルに対して、開催趣旨をまとめた資料を事前に共有することで開催の目的を共通認識として持ち、進めている。
- ・各回ドリームノートを生徒へ配布し、聞きながら書いてもらうことで、記憶に残る授業を提供することはもちろん、書かれた内容から、子供たちが授業をどのように捉えたのか学校の先生が把握できるようにしている。
- ・ドリームノートの感想欄は登壇したプロフェッショナルに各回フィードバックし、改善につなげている。
- ・年間での最終開催後は、アンケートを学校の先生、生徒、登壇プロフェッショナルに実施し、当プロジェクトの定量的評価を行い、まとめたレポートを教育委員会と学校に提出している。
- ・改善点は次に開催する全ての学校のキックオフで共有し、より充実した内容にできるようにしている。

「実践性」についての具体的な取組, 工夫している点など

当プロジェクトは運営側が学校の希望する複数の職業のプロフェッショナルへ登壇依頼し、同日登壇を調整するため、学校の先生の手間を省きながらも、子供たちが個々に関心がある職業を選んで受講できる仕組みを作っている。また、地元にある職業も多く紹介したいというニーズにも応え、近隣の企業・団体への協力要請も運営側で行なっている。協力体制を築いた企業・団体・プロフェッショナルは、プラットフォームで閲覧できる為、教師の異動に伴い、前年度依頼していた先の連絡先がわからないなどの問題も解消される。各年度の担任の先生がスムーズに外部連携できる仕組みを構築している。

<東京都港区の例>

子供たちが一次産業の仕事に触れる機会が少ないとのことで、農業や海に関連するお仕事など、多くご紹介した。

<合同授業の例>

港区と伊東市の小学校をオンラインでつなぎ、合同授業で開催した。双方の学校の良いところを瞬時に吸収し、発言が積極的になるなど良い効果を得ることができた。また、それぞれの地域で活躍するプロフェッショナルに登壇いただくことで、双方の地域の理解にもつながった。

<兵庫県淡路市の例>

地元の企業やお店へ職場体験に行く前の事前学習として開催した。従来行っている実際の労働体験を補完する形で行うことも有益だと実証することができた。

開催校の課題やニーズ、地域に合わせてカスタマイズが可能である。

「発展性」についての具体的な取組, 工夫している点など

tobira ドリームプロジェクトは、単なる職業講話ではなく、多くの大人が個性を活かして楽しく、目標を持って働いていることを子供たちに知ってもらう場としている。また、どの分野にも共通するプロフェッショナルマインドを学ぶ場でもある。そのため、登録するプロフェッショナルは、特定の分野で一定の実績があり、身元の確かな方のみにお声がけして登壇いただく仕組みにしているため、質の高いキャリア教育授業を実現している。

2021 年度開催した 13 校全てが継続を希望し、2022 年度異動された校長先生や担任の先生が、異動先の学校でも開催を希望するなど、高い評価を頂き開催校が増えている。

2021 年度実証実験でスタートした伊東市では、tobira ドリームプロジェクトが PTA で話題になり、PTA の役員の方から授業参観の依頼を受け、2022 年度は保護者参観を実現した。その話を聞いた他校の PTA の方が自身のお子様を通う学校でも開催してほしいと要望し、関心のある学校を紹介いただき開催につながっている。また、地元の企業や団体、プロフェッショナルとも多くの協力体制を築いていることはもちろん、重要な職業でありながら、理解不足から敬遠され人手不足が深刻化する業界と連携し、厳しいだけではない仕事のやりがいや魅力を伝え、理解を深める場にもなっている。そのため、福祉や建設業、農業、製造業など人手不足と言われている業種の企業にもご協力いただける体制ができている。

学校現場の評価・感想・コメント

- ・これほど多くのプロフェッショナルの方のお話を伺うことができる授業を自分たちだけでアレンジすることは難しいので、とてもありがたかったです。地域や学校によって環境は様々ですので、どの学校でも今回のような授業を実施できるかというところではないかもしれませんが、個人的にはぜひまた受講させていただきたいと思いました。
- ・10もの職種から選択できたことで子供達は興味を持った職業だけではなく、普段触れることのない職業の方の話を聞くことができたのでとてもよい時間となりました。
- ・未来の選択肢を広げる、という趣旨の通り、様々な職種についての目からうろこの話がたくさんたくさんありました。子供たちの仕事観を広げることができたように思います。講師の先生方の話術の巧みに教員も勉強になりました。
- ・さまざまなジャンルのプロの方と対話できる機会はとても貴重で素晴らしいかったです。
- ・オンラインによって遠く離れた場所の方と交流できるのはこれからの教育に良い影響を与えたいと思いました。キャリア教育の大切さを改めて知ることができてよかったです。
- ・ドリームプロジェクトを通して、子供たちは自分と向き合い、自分の良さや自分らしさを見つめる機会となりました。
- ・様々な職種から選べてお話が聞けるのは本当にありがたかったです。教員だけでは絶対に集めることができません。また、本には載っていないような職業の方もいたのがよかったです。
- ・このような形で職業講演会ができてとても助かりました。オンラインは生徒にとってはまだ、新鮮ですし、これからの時代に必須の講演会の形態を実体験できたこともありがたかったです。教員側も大変勉強になりました。はやく時代に追いついた対応の必要性をあらためて感じました。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

<笑顔の家 伊原様>

自分の仕事を紹介させて頂く貴重な機会を頂きありがとうございました。子ども達が将来どんな仕事をするにせよ、仕事の意義を感じられると、とても毎日が充実することを将来の社会の担い手に伝えていくことは今の社会人の務めですので有難い限りです。ドリームプロジェクト、とても素敵な企画に参加させて頂き、こちらがパワー貰いました。ありがとうございました。

<カイセイ薬局 土田様>

貴重な経験をさせていただきありがとうございます。お子さんの将来を考える一つのきっかけであつたら嬉しいと思います。

<武田製靴株式会社武田様>

とても素敵なプログラムであり、是非定番授業に昇華して欲しいです 国力の回復は将来を担う子供達への真剣な教育のみ可能にすると思います期待しております。

<株式会社小学館集英社プロダクション 奥野様>

改めて自分を見つめるきっかけにもなりました。行っている仕事だけを伝えるのではなく、どんな思い、考え、生き様から子ども達にとってヒントになるものがあれば参考にしてみたいことが今回の授業やキャリア教育の主旨でもあると思いますが、責任の重さを感じるとともに、その共通理解の大切さを改めて感じました。次回もよろしくお願いいたします。